

衣浦合材工場建替完了、24日に火入れ

前田道路

前田道路は、衣浦合材工場（愛知県半田市）のリニューアル工事を完了し、24日に火入れ式を開いた。1989年に稼働を開始し老朽化が進んだ合材プラントと事務所棟を建て替えた。設計はアート設計、施工は徳倉建設、田中鉄工、ニチュウが担当した。施工に当たっては、既存施設の稼働を維持しながら敷地内に新プラントを建設した。リニューアル後のアスファ



火入れ式（左から西依支店長、西川会長、亀井工場長）



ルトプラントの新規材生産能力は1時間当たり60ト、再生合材は90ト。サイロは100トと120トの合計220トを設けた。機材をコンパクト化し生産性や燃費効率を向上したほか、プラントをシェルターで囲うことで騒音や振動を抑制するなど、環境に配慮した施設となっている。

式典には、西川博隆取締役会長や西依和浩中部支店長など同社関係者や施工者ら計15人が参列した。神事後、西川会長は「協力会社と力を合わ

せ、これまで以上に地域の役に立つよう努力していく」とあいさつした。続いて、施工者を代表して徳倉克己徳倉建設代表取締役専務執行役員本店長があいさつし、亀井博文衣浦合材工場長が謝辞を述べた。

